

つくばみらい 相談事例

消石灰の事故

農作業中に消石灰が目に入り、失明をする事故があったと聞きました。使用する時、どんな事に注意すればよいですか。

肥料に使用する消石灰（水酸化カルシウム）は、酸性を中和させて作物に適した土壌を作るために用いられ、農業や家庭菜園に多く使われています。消石灰は強いアルカリ性の物質で、目に入ると大変危険です。皮膚に付いても化学やけどを起こす場合があります、皮膚などの組織を溶かしてしまうため、酸よりも深いやけどになることがあります。

消石灰を散布中に転んでしまい、バケツに入れてあった消石灰をかぶり、左目を失明するという事故がおきています。消石灰を使用するときは、目に入らないよう保護メガネをかけ、皮膚に付かないよう手袋をし、吸入しないよう保護マスク等を着用しましょう。

また、飛散しにくい粒タイプも販売されているので利用を検討しましょう。

使用した後は、手をよく洗い、うがいをします。もし、目に入ってしまったら、きれいな水で十分に洗浄し、すぐに医師の診察を受けてください。